

東京聖栄大学 後援会会報

編集発行
東京聖栄大学
後援会

会長挨拶

後援会会長 大嶋 博



めっきり秋めいてまいりました。今日この頃ですが、後援会の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて去る四月四日の東京聖栄大学入学式終了後に開催されました、平成二十一年度東京聖栄大学後援会総会におきまして、会長を仰せつかりました大嶋博です。

これから一年間後援会会員の皆様にご指導ご鞭撻を賜りながら大任を全うしていく所存でありますので、宜しくお願ひします。

さて、東京聖栄大学後援会として五年目となりました。大学は草創期です。未来へのしっか

りした礎を築くために教職員と学生と保護者が一体となって大学建設ができるように応援していきたいと思ひます。

後援会としましては、多くの学生が学業に専念できる教育環境づくりそして来春卒業予定の四年生への就職活動や管理栄養士取得への支援、さらに教職員の研究助成を図るべく支援活動、大学と共催の保護者会、会報の発行を行っております。

東京聖栄大学も開学五年目となり、第一期生は本年の春、卒業し社会へ巣立っていきました。今後のご活躍を祈るとともに卒業生として陸続と続く後輩たちの良き見本となって大学の新しい道を開拓して下さい。

最後になりますが、東京聖栄大学の益々の発展と後援会の皆様のご活躍を祈念し、ご挨拶とさせていただきます。

◆平成二十一年度保護者会(予告)

今年度も後援会・大学共催による保護者会を、十月三日(土)十三時から十五時の予定で開催することといたしました。



昨年度の保護者会

めていただければと思っております。

日程については、十三時より全体会とし後援会会長・学部長挨拶に続いて、学生の現状と課題についての報告。その後学科毎の学科別全体会を行った後、各学科・学年別に分かれて学年担任との懇談を予定しております。

保護者会終了後引き続き、本学多目的ホールにおいて、後援会主催による教職員との情報交換会を開催いたします。

◆総会・役員会報告

役員会報告

二月二十一日(土)四役会、三月七日(土)に役員会全体会が夫々開催された。

先ず、平成二十一年度事業報告、同決算報告並びに会計監査報告

があり、慎重審議の結果、同報告は承認された。

引き続き、平成二十一年度事業計画案同予算案を審議、夫々承認された。

さらに進級する一部の役員の方の二十一年度留任が決定。

総会

四月四日の大学入学式当日、本学わたなべ記念館に於いて、ご父母(保護者)多数の出席を得て総会が開催された。

初めに、昨年度の事業報告、同決算報告並びに会計監査報告があり、異議なく承認された。引き続き、本年度事業計画案、同予算案が承認された。

次に役員改選が行われ、新任・委嘱された新役員の方々のご紹介の後、新会長には大嶋博氏が選任され、平成二十一年度役員が満場一致で承認された。

平成21年度後援会役員紹介

会長	4FA	大嶋	博
副会長	3NA	橋田	幸子
副会長	2NB	高木	繁
会計監査	4NB	谷田	善
会計監査	2FA	金原	政
会計監査	1FB	水野	充
会計	3NA	糸井	子
会計	1NB	篠田	明
役員	4NA	福	夫
役員	3NA	加藤	美
役員	3NB	藤村	則
役員	2NA	柳瀬	仁
役員	2NB	齊藤	ひろ
役員	2NB	中村	み
役員	2NB	伴	春
役員	2NB	渡邊	信
役員	2FA	金井	美
役員	2FA	木口	江
役員	1NA	平塚	尚
役員	1NA	滝田	三
役員	1NA	川島	代
役員	1NB	堀	子
役員	1FA	今	仁
役員	1FA	東	子
			三
			子
			略

学 部 長 インタビュー



健康栄養学部学部長

松本 信二

問 新しく学部長になった抱負をお聞かせください。

希望を持って本学に入學した学生達に満足した四年間の学生生活を過ごしてもらえようという環境造りに努めるのが学部長の役割だと思っています。

本学の特徴の一つとして、少人数単位の教育がなされていることが挙げられます。教職員と学生の距離が近く、マンツーマンの教育が可能です。学生達は勉学はもちろんのこと学生生活全般に亘って相談に乗って欲しいと思っています。

問 夫々の学科について今度の展望をお聞かせください。

管理栄養学科の学生達は、国家試験という大きな目標があり、卒業後の進路もはっきりとしているの、合格を目指して

邁進してもらいたい。教員も一期生の結果を踏まえ、より充実したプログラムを作成して指導に当たっています。

食品学科の学生達は、自分達の目標を早めに定めて欲しいと思います。食品に関わる企業は数多くあり、卒業後の選択は非常に広い範囲に亘っています。将来はこれらの職場で指導的立場になる人材に育って欲しいと思っています。

問 松本学部長は校友会の顧問もされていますが、今の学生気質はいかがですか。

学生にはそれぞれ目標に向かって勉強してもらいたいのですが、やはり文武両道、四年間で人間をみがく努力もして欲しいと思っています。

また何か近頃の学生は、集団生活に慣れていないような気がします。それにはクラブ活動などは大きな役割を果たすと思っています。同じクラスの友人はもとより、上級生や下級生との付き合い方を早くから身につけておくことを希望します。

管理栄養学科

国試対策に全力、

充実した個人指導で

管理栄養学科長 阿左美章治



卒業生による国家試験対策講話 (21年6月)

本学科は、この三月に学科一期生を初めての卒業生として送り出した。卒業生の就職決定率は九六%で、四月からちょうど半年経った現在、仕事にも慣れ大いに活躍する充実した日々を送っていることと思う。ただ残念なのは管理栄養士国家試験の合格率が当初考えていた目標に達しなかったことである。この原因には資格取得に関する安易感や意欲の薄弱性、それに伴う対策勉強スタートの遅さが学力

改善に繋がらなかったことなどが考えられる。このことから今年度は、特に教員や受験生が諸問題を認識し、解決し、自信をもって試験に臨めるよう補習、模擬試験など種々の企画等を実施している。この国試対策を学生、国試対策室と学年担任が連携を取り合い、さらに充実した個人指導で対応していく所存である。また三、二、一年生においては学年担任を中心に夏季休暇に課題を科すなどして苦手教科の克服、意識の改革を開始している。

食品学科

新カリキュラムの下、

更なる飛躍を

食品学科長 筒井 知己

食品学科に、フードサイエンスコース、フードビジネスコースの二コース制が導入されて半年がたった。各コースともそれぞれの分野での実力アップを目指して、カリキュラムに従来の専門教科に加えて、さらに広範な知識、技能を獲得できるように多数の教科を追加したわけである。今回フードビジネスコースの学生は、二年次までに所定

の単位をとり、成績も良好であれば審査により、併設校で調理師免許取得も可能になった。すなわちビジネス分野での更なるキャリアアップが可能になったわけである。現在でもクッキングスクールの助手等に就職する学生がいるが、今後食品関係の自営業に従事する学生にもこの資格は役立つものと思われる。食品学科第一期生の就職決定率は、九七%であった。今後の卒業生は、それぞれの分野で研鑽を積んで、高就職率を維持してもらいたいと考えている。

なお、今年も前年と同様にフィールド研修(長野県伊那)や海外研修(イタリア)を実施した。



第3回海外研修旅行(イタリア) (21年2月)

後援会の寄贈

●楽器保管用ロッカー



吹奏楽同好会ロッカー

今年四月に吹奏楽同好会が新規設立された。本同好会は、文化的・地域活動等への貢献が期待されることから、大学では積極的な支援を検討している。この度、同好会より楽器の保管ロッカーの導入申請があり、後援会で購入し寄贈した。今後の活動を期待したい。

●スタンドパネル



ピロティアーに設置したスタンドパネル

学生から、多目的ホールに設置されているパソコンの増設の希望が寄せられていた。後援会では要望に応え、九月に新型パソコン三台を購入し大学に寄贈した。後援会では、大学の情報化推進事業に協力し、今後とも IT 関連機器の新規導入を推進していく予定である。



パソコンを利用する学生

後援会は四月、学友会や部・同好会等の活動報告などで使用するパネルの新規購入の要望に応え、昨年引き続き、スタンドパネル四台を購入し寄贈した。

●病院情報データ

後援会では、学生の就職支援を目的とした病院情報データの充実を図る為、今年は、北海道・東北・中部地区の病院情報電子データを購入し、大学に寄贈した。

●多目的ホール設置パソコンの増設

学生支援センター

学生支援センターでは、学生向けの各種の講座を開催している。五月には『安心・安全講話会』、『マナー講座』、七月には農林水産省大臣官房による『食料・農業・農村白書説明会』を実施した。

就職関係では、六月にライオン(株)の研究技術本部研究員による『就職特別講演会』や『公務員ガイダンス』を開催し、キャリア・就職サポートを実施している。

また、七月十日に福澤理事長・学長等大学側代表者と学友会役員等学生代表による『学生との意見交換会』が行われ、活発な意見が交わされた。意見交換会で行われた学生の要望等について、対応可能案件は大学側で既に対応し解決した。

学友会活動報告

●学友会総会・新入生歓迎会

四月十六日、「学友会総会」が開催され、新役員の選出や新年度行事予定などが報告された。引き続き行われた「新入生歓迎会」では、葛飾区保健所所長の齋藤麗



齋藤麗子所長による特別講演

子氏を招き「今が健康寿命の分かれ道―世界はたばこの無い社会に向っています―」と題する特別講演が行われた。保健所の役割から、栄養と食品に携わる本学にも関係する「味覚とたばこ」についての話など、健康に対する意識づけのみならず、学生生活を豊かに送るための興味深い内容だった。

●体育祭

五月二九日、本学第一グラウンド(船橋市)で行われる予定だった体育祭は、残念ながら前日からの雨天により中止となった。なお、学生からの強い要望により、来たる十月五日、本学に程近い新小岩にある「私学事業団総合運動場」において、改めて体育祭が実施される予定である。

●聖栄葛飾祭(大学祭)予告

今年の聖栄葛飾祭は十一月七日(土)、八日(日)に開催される。大学祭テーマは『食べて動いて



昨年の聖栄葛飾祭

脱メタボ』として、本学の得意とする健康・栄養・食品関係の企画が数多く予定されている。地域共創・食育事業としては、葛飾区食育サポート事業の広報を「日本フードスペシャリスト協会」の共催により行う。また、聖栄葛飾祭は今年も葛飾区の後援を受ける予定である。保護者をはじめ、たくさんの方々のご来場をお待ちしております。

●部・同好会活動

今年度は、新しく「吹奏楽同好会」「セイエイ・イレブン(女子サッカー同好会)」の二つの同好会が新規設立された。吹奏楽同好会は、一年次生から三年次生で、主に高等学校までに吹奏楽の経験のある学生が集い活動を開始している。今後は、大学関係行事への参加など期待される。セイエイ・イレブン(女子サッカー同好会)は、本学初の、女子専用同好会である。サッカーの活動に加え、八月には地元新小岩の地域活動に参加し、好評を得た。

入試関係ニュース

受験相談会

10月3日(土) 10月10日(土)
 11月7日(土)※ 11月8日(日)※
 11月28日(土)

■開催時間

各回とも13:00-16:00 要予約

■主な内容

- ・平成22年度入試概要説明
- ・個別受験相談
- ・キャンパス見学

・在学生と話そう 他

※11月7日、8日は聖栄葛飾祭(大学祭)受験相談コーナーとして実施。

〈お問い合わせ先〉

学生支援センター入試相談室

〒124-8530

東京都葛飾区西新小岩1-4-6

TEL. 03-3692-0211 (代)

03-3692-0238 (入試相談室直通)

URL: <http://www.tsc-05.ac.jp/>

副会長挨拶

後援会副会長 橋田 幸子



秋も深まってまいりましたが、後援会の皆様には益々ご健勝のことと、お慶び申し上げます。さて、今年の夏は異常気象による野菜の高騰及び地震による高速道路の崩落等で、食糧品の流通経路が打撃を受けました。また日本の食糧自給率は四〇%台と低いいため、輸入に頼らずに、国産化を真剣に考える時期にきていると考えます。昨年の餃子事件も、未だ解決できてい

ないことも不安材料です。ところで、数年前から私は家庭農園でナス、トマト、及びモロヘイヤ等を作っています。無農薬でもたくさん収穫を得ることができました。家庭農園から収穫の喜びを感じ、第二の人生で農業を始める人達も多いとか、なんだかわかるような気がします。卒業生も、今年から社会で活躍する時期を迎え、野菜で例えれば収穫の時期になりました。学生が一般社会に出てから、実力を十分発揮できるよう、学校関係者及び微力ではありますが我々後援会が見守っておりますので、建学の精神を身につけ、意義ある学生生活を送ってほしいと願っております。

管理栄養学科担任紹介

一年担任 渡辺 順子 講師



一年副担任 星野 浩子 助手



二年担任 岡田 弘教授



二年副担任 植松 節子 講師



三年担任 長須 正明 准教授



三年副担任 大塚 静子 助教



四年担任 柳瀬 昌弘 教授



四年副担任 伊澤 正利 准教授



食品学科担任紹介

一年担任 品川 弘子 教授



一年副担任 植芝 牧准 教授



二年担任 井筒 雅 教授



二年副担任 丸井 正樹 教授



三年担任 前田 宜昭 教授



三年副担任 眞木 俊夫 教授



四年担任 松本 信二 教授



四年副担任 荒木 裕子 講師



編集後記

今回の会報では、四月に就任された松本信二学部長に協力を頂きインタビュー記事を掲載しました。次回は、三月に発行予定です。

